

那珂川市図書館

オススメの1冊

『薪を焚く』

ラーシュ・ミッティング／著 晶文社 一般書【658.2 ミツ】

太古より生活に必要不可欠だった薪。電気やガス、暖房器具などの普及により、最近は見かける機会が少なくなりました。

しかし寒さの厳しいノルウェーやデンマークでは、薪の消費量が年々増加しています。ノルウェーの薪の年間消費量は、平均的な寒さの冬で 150 万トン。1人あたりの年間消費量は平均 300 キログラムにもなります。

なぜ薪を使うのか？この本では、ノルウェー出身の著者がインタビューや写真を交えながら、薪の持つエネルギーとその魅力に迫ります。

薪作りは、木の伐採から始まります。ノルウェーでは「春乾燥」の薪といえば高品質の印で、これは冬か春の早い時期に伐採し十分に乾燥させた薪のことです。著者もこの時期の伐採をおすすめしていますが、他にも伐採の時期を決める方法として月の満ち欠けを重視する伝統や、「イースター(4月頃)までに伐採、薪割りまでしておくべし」といった古典的な決まりがノルウェーに残っていると紹介しています。

他にも薪を使ったアートや、近年の薪事情など、薪焚きへの愛にあふれた一冊です。暖炉の火を思い浮かべながら、読んでみてはいかがでしょうか？

那珂川市図書館司書 (たいこ)